

三心を磨く

学校だより No. 3

令和4年6月24日（金）発行

須坂市立東中学校

文責：（教頭）

<http://www.azuma-school.ed.jp/>

◇◇◇ 6月8日の校長講話より ◇◇◇ 教室で視聴する校長講話がありました。

おはようございます。前期人権教育月間が始まりました。my 人権宣言は、しっかり考えることは出来ましたか？意識して生活できていますか？今日はSDGsの目標「16 平和と公正をすべての人に」「4 質の高い教育をみんなに」を意識した講話をしたいと思います。

昨日、全校で定植作業をしました。お疲れ様でした。皆でしっかり世話をし、美しい花を咲かせてほしいと思います。これは何という花ですか？「カンナ」ですね。夏に赤い花が咲きます。昨日の美化委員会の話

にもありましたが、アズマフラワーガーデンにカンナが植えられているのは、原爆が投下され、草木も生えないと言われた広島市で、がれきの間からカンナ

の花が咲いたという事実。そして、その事実が人々から忘れられていることを知った さんが、カンナの花に「平和のバトン」という新たな命を吹き込んで「カンナプロジェクト」を世界に広げている、その一環です。広島平和記念館のカンナの写真パネルは、カンナプロジェクトの原点ですが、今は、須坂市に寄贈され、メセナホールに展示されています。アズマフラワーガーデンの取組は、平和な未来をつくる取組と

言うことが出来ると思います。しかし、その思いとはうらはらに、この出来事が起きました。ロシアによるウクライナ侵攻は100日も以上も続いています。冬季オリンピックの始まる前あたりからロシアによるウクライナ侵攻の可能性が報道されていきましたが、まさか今の時代にそんなことは起こらないだろうと思っていました。ですから、実際にウクライナ侵攻が始まり、様々な映像や画像、ニュースを目にしたときは、たいへん大きなショックを受けました。この100日間、ウクライナでは平和に生きる権利が踏みにじられ、多くの人の暮らしと命が奪われてきました。そして、国のための戦いという名の下で、双方の国の兵士も多数命を落としています。「平和とは」「人権とは」「国のために命をかけるとは」一体どうということなのかという思いが湧いてきます。

今、私たちがリアルタイムで目にしていてロシアによるウクライナ侵攻も、やがて歴史の教科書に載ると

思います。歴史の教科書には過去のこととして、様々な出来事が載っています。しかし、考えてみれば、一つ一つの出来事は、その出来事の起こった「今」の積み重ねだということが分かります。今回のウクライナ侵攻を通して強く思うことは、「歴史を学ぶ」ということは、単にいつどんな出来事があったの



忘れられたカンナに新たな命を吹き込んだ橋さん。平和を願うカンナのバンは、今も広がっている。

広島平和記念資料館が改装される際、廃棄されることになったカンナの写真パネルは、橋さんらの尽力で、今、須坂市に寄贈され、メセナホールに展示されています。

アズマフラワーガーデン
＝カンナ
＝平和な未来をつくる取組

ベラルーシ
チェルニヒウ
ロシア
ポーランド
ルーマニア
ウクライナ
黒海
クリミア半島

- ・平和に生きる人としての権利が踏みにじられ、多くの人の命が理不尽に奪われている。
- ・国のために戦い、やはり多くの命が失われている。
- ・平和とは...
- ・人権とは...
- ・国のために命をかけるとは...

新しい社会
歴史

戦争は最大の人権侵害

あなたは、ウクライナ侵攻から、平和・人権についてどんなことを「感じ、考え」ていますか？

現在進行形のロシアによるウクライナ侵攻もやがて歴史の教科書に載るだろう

歴史＝今現在の積み重ね

歴史を学ぶこと
＝未来をつくること

かという知識を覚えることではなく、それらの出来事を通して、「未来をどう創っていくかを学ぶ」とのことです。

私は、以前、広島を訪れ、被爆者の方からお話を聞く機会がありましたが、「戦争は最大の人権侵害」だとおっしゃっていたことを思い出します。皆さんは過去の戦争の歴史や今起きているウクライナ侵攻から何を学び、自分たちの創る未来にそれをどう生かしていきたいと思うのでしょうか。

ウクライナ侵攻についてはこんな報道もありました。多くの避難民がポーランドに入国しているという報道です。地図で見てみましょう。ウクライナの人々にとって、国境を接している隣国のポーランドに避難するのは地理的に当然といえば当然ですが、歴史的に見ても深い関わりがあります。

ところで、ポーランド出身の有名な人といえば誰を思い浮かべますか？東中生なら真っ先にあげてほしいのはこの人です。フレデリック・ショパン。今から 210 年ほど前の 1810 年、ポーランドの首都ワルシャワの近くで生まれました。これは、1835 年に作られたショパンの時代のヨーロッパの地図です。ショパンが生まれる更に 100 年ほど前のポーランドは、この地図のポーランドよりもずっと広く、ヨーロッパで最も大きく、最も人口が多い国でした。現在のウクライナの一部もポーランドでした。しかし、周辺との紛争等により国の力が衰え、ショパンが生まれた頃は、ロシア帝国、プロイセン王国、オーストリア帝国の 3 国に、全領土を分割・支配されていました。ショパンは自分の音楽を磨くために、祖国ポーランドを旅立ちますが、その途中で、独立を目指したポーランドの革命軍が、ロシア帝国軍に敗れ、首都ワルシャワが陥落したことを知ります。祖国の多くの命が失われたことを悲しみ、絶望の中で「革命」を作曲します。そして、パリに着いたショパンは、カミーユ・プレイエルと出会い、プレイエル社のピアノを愛用するようになり、祖国ポーランドの音楽を大事にしながら数々の名曲を生みだします。



しかし、ショパンは、祖国の地に帰ることなく、病気のため 39 歳の若さで亡くなります。墓地に埋葬される際、棺には祖国を出るときに友人達から贈られたポーランドの土がかけられました。そして、遺言によってショパンの心臓は祖国に送られ、ワルシャワの聖十字架教会に安置されました。ショパンの人生もまた、戦争に大きく翻弄されたと言えます。

一見無関係に思える事柄も、歴史的な事実や背景を、戦争・平和・人権の視点で見ると、つながりが見えてくるのではないのでしょうか。今、皆さんは、アズマフラワーガーデンにカンナを植え、プレイエルのピアノにいのちを吹き込むことに取り組んでいますが、目に見えているもののその向こう側に心の目を向け、平和な未来を創ることにつなげてほしいと思います。



PTA 講演会・「よかったカルタ」ご参加ありがとうございました



20日(月)、「失敗して良かった～思考グセを変えれば人生が変わる～」という演題で、先生の講演をお聞きしました。物事のとらえ方を変えることで、生活が豊かになるというお話で、その後、保護者の方々を交え、和やかな雰囲気で行ったカルタに取り組みました。ご参加有難うございました。

アズマデー「プレイエルにいのちを吹き込む」

27日(月)の1時間目～4時間目まで、「プレイエルにいのちを吹き込む」全校総合の活動に取り組めます。当日は、複数のチームに分かれて校内外で活動を進めることになっています。急な連絡となりますが、保護者の方々も活動の様子をご参観いただいても構いません。日程や活動内容については当日変更する場合がありますが、昨日配信されたメールでご確認ください。

